

1 この科目の構成について

教 科	国語	科 目	現代文	単 位	3単位
対象コース	カレッジコース理系	対象クラス	3年1組		
使用教科書	高等学校 現代文B（第一学習社）				
使用副教材	3ステップオリジナル問題集 錬成現代文 改訂版（尚文出版） センター試験国語対策問題集				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
(1) 近現代のすぐれた文章を読み、ゆたかな鑑賞力と柔軟な表現力の育成を目指します。正確な知識と客観的な読解のもと、「書く力」「話す力」を養い、総合的な国語力を磨きます。また、現代社会に潜む様々な問題について多角的に考える力を高めます。 (2) 分量の多い難解な文章の読解にも取り組んでいくことで、センター試験などの大学入試にも対応できる、高度な読解力を養います。	
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
(1) 現代の評論文…客観的思考力、問いに対して正確に答える能力を身につけます。 (2) 近現代の文学的な文章…すぐれた文学作品を読み解き、豊かな言語表現力を身につけます。 (3) 受験問題（センター試験）レベルの読解力と解答時間のスピードアップを図るための、解法の技術を高めます。	
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
(1) 学校 ・授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。論の構造や展開を図式化し、まとめていきますので、論旨を整理してとらえたり、表現と趣旨との対応関係を把握したりするように努め、ノート記録を充実させましょう。問題文（口頭での質問も含む）の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得しましょう。 ・授業担当者の話を聞くだけでは十分とは言えません。問いかけに対して意欲的に思案・吟味し、積極的に自分の意見を発表しましょう。自分で気がついたこと、感じたことは、授業の何よりの手柄です。みなさんの「気づき」が、文章を読み取る手がかりとなりますし、クラスメートと意見を共有することで、何倍も学習効果を高めることができます。 (2) 家庭 ・予習：教科書の本文を一読し、わからない語句の意味を調べておきましょう。 ・復習：授業のノートを振り返りながら、プリント等の宿題を確実に行ってください。納得のいくまでくりかえし課題文を読み、演習に取り組みましょう。知識を丸暗記するだけの学習では不適切です。正解した問題でも、もっと深く考えてみたり、知らない知識をチェックしたり、知識を問題にに応じて使いこなす能力を鍛えることが重要です。	

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何をを使って評価するのか—
(1) 定期考査→年4回、定期考査を実施します。授業での学習内容から出題します。 (2) 授業用ノート→授業時の宿題、板書事項の内容について、提出期限内に点検・評価します。 (3) 長期休暇中の課題→現代文の演習問題を宿題として課します。 (4) 学期中の課題→授業理解の確認のため、プリント等の宿題を課します。	
評価における定期考査の割合	
70%	

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
(1) 関心・意欲・態度 問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。	
(2) 思考・判断 合理的であるか否かが評価の軸となります。恣意的な思考は評価しません。	
(3) 技能・表現 口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。	
(4) 知識・理解 定着度だけではなく、知識を得ようとする日常の取り組みを評価します。	

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—				重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目		学 習 の 内 容		関	思	技	知
一 学 期	4	評論（一） 「未来世代への責任」 岩井 克人		論理的な文章を読む基礎的な技術の習熟を目指します。文章の論理展開を把握し、一般的な常識とは異なる筆者の主張を理解します。またそれについて自分なりの意見を持ち、今後の考え方に反映させます。		●	●	●	●
		小説（一） 「タオル」 重松 清		短編小説を読む際の基本的姿勢を踏まえて、読解方法を習熟させます。優れた構成・表現・豊かな語彙を持つ小説を読解することで、小説を味わいながら、登場人物の心情を推察し、他者との関わりから自己の存在と内面について考えをめぐらすような鑑賞方法を学びます。		●	●		●
	5	評論（二） 「いのちのかたち」 西谷 修		現代の評論を理解する上でお基礎となるテーマ、あるいは今日的な問題についての意識を深めます。生命倫理的な意味における「いのち」をどう捉えるか、物理化学的な一般論として扱われる「生命」とは異なる意味での生命について考え、「人間的」な生き方とは何なのか考察を深めます。 道徳教育を実施		●		●	●
		詩 「足と心」 中桐 雅夫		近・現代詩の優れた作品に親しみます。さまざまな技法、詩形、イメージ、レトリックを学びながらその中に織り込まれたさまざまな世界認識の方法や枠組みを学びます。		●		●	●
		「冬の日」 以倉 紘平 「自然の背後に隠れて居る」 萩原朔太郎							
二 学 期	6	評論（三） 「身体の個性」 浜田 寿美男 「目に見える制度と見えない制度」 中村 雄二郎		論理的な文章を読み解くための基礎的な技術を身につけます。文章の論理展開の型を把握しながら筆者の主張を的確に読み取り、それをふまえながら自分なりの見解を持てるようにします。また、自明だと思われる事柄に対して、その自明性を問い直す高度な抽象的思考力を身につけます。		●	●		●
		小説（二） 「舞姫」 森 鷗外		古典的な名作を読み、登場人物の心情の揺れに密着して小説を読む方法を学びます。語句の意味を正確にとらえ、明治文語文ならではの美しい描写や表現に触れることによって言語感覚をみがきます。 道徳教育を実施		●	●		●
	8	評論（四） 「句を切る」 長谷川 権 「定型があってこそおもしろい」 高松 公彦		論理的な文章の構成・論の展開を正確に把握して、大意や要旨を的確に理解する力を身につけます。また、抽象的な表現、比喩表現、具体と抽象、例示と考察、対比と類比などを文脈に即して正確に読み取る力を高めます。		●	●	●	●
		小説（三） 「枯野抄」 芥川 龍之介		完成度の高い短編小説を読むことで、表現の機微、効果的な文章表現、語り手と語り手の方法、文体などについての理解を深めます。死を媒介にした他者との関係が描かれた作品を読むことで、生や死の意味・意義、他者との関係についての思考力や想像力を高めます。		●	●		●
三 学 期	10	入試対策問題演習		問題集を用いた演習を行い、センター試験および大学入試に対応できる読解力の完成を目指します。知識を各問題に応じて適切に使いこなし、マーク式では正解を導き、記述式では正確な解答を作成する力を身につけます。		●	●	●	●
	11								
	12								
	1								